

東環協ニュース

発行●東京都環境計量協議会

〒110-0016 東京都台東区台東 1 - 14 - 11
ヒロキビル ヒロエンジニアリング(株)内
TEL (03) 5812-4111
FAX (03) 3833-6674
MAIL toukankyo@car.ocn.ne.jp
URL <http://www.toukankyo.org>

- ★ 第 42 回通常総会報告
 - ・ 第 42 回通常総会議事録
 - ・ 総会資料
- ★ 第 42 回通常総会後の懇親会報告
- ★ 2019 年度 新任者教育セミナー報告
- ★ 新役員の挨拶
- ★ 役員の役割分担
- ★ 関係機関・団体の動き
 - ・ 首都圏環境計量協議会連絡会
 - ・ (一社)神奈川県環境計量協議会
 - ・ (一社)埼玉県環境計量協議会
 - ・ 千葉県環境計量協会
 - ・ (一社)日本環境測定分析協会
- ★ 東環協からのお知らせ
 - ・ 2019 年度第 1 回親睦ゴルフ大会報告
 - ・ 2019 年度これからの主要行事予定
 - ・ 事務局からのお知らせ

第 42 回通常総会報告

2019年5月8日(水)、第42回通常総会がアルカディア市ヶ谷5階「大雪(東)」で開催されました。正会員28社のご出席をいただき、24社の委任状と合わせ定数を充足していることから、定刻の16時30分、竹田副会長が総会の成立を宣言しました。会則第22条に従い、議長には佐藤会長が選出され、五十嵐副会長により昨年度の事業報告並びに収支決算報告、今年度の事業計画・予算案の説明が行われました。今年は役員改選期ではありませんが、第5号議案で2名の新理事の承認が行われました。総会における各議案の審議は滞りなく進行し、17時20分に無事終了いたしました。詳細は議事録及び総会資料をご覧ください。

佐藤会長の挨拶



<佐藤会長挨拶>

只今、ご紹介に預かりました会長の佐藤です。総会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。本日はご多用の中、本総会に多数ご出席いただき誠に有難うございます。ご来賓といたしまして一般社団法人日本環境測定分析協会から松村徹会長に、ご列席いただき誠に有難うございます。

(中略 ※挨拶の詳細は総会資料をご覧ください。)

これより第42回の通常総会におきまして、平成30年度の事業報告と収支決算報告、及び2019年度の事業計画案と収支予算案、並びに今年度は役員改選期ではありませんが、会長推薦の2名の役員承認についてご審議をいただきます。皆様の活発なご意見、ご討議をお願いしたいと思います。

簡単ですが、会長のご挨拶とさせていただきます。



<通常総会風景>



<説明を行う五十嵐副会長>

東京都環境計量協議会
2019年度（第42回）通常総会
議事録

日時：2019年5月8日（水） 16:30～17:20
場所：アルカディア市ヶ谷 5階「大雪（東）の間」（東京都千代田区九段北
4-2-25）

出席者：52社（うち委任状 24社）

竹田副会長が16時30分、正会員総数64社中52社の出席があり、会則第19条により総会が成立することを宣言した。

総会を開催するに当たり、最初に佐藤会長が挨拶を行った。

会則第22条に従い、会長が議長となったが、議事に入る前に会長は議事録署名人として、（株）日新環境調査センターの小島邦夫氏と（株）サンコー環境調査センターの鶴沢茂樹氏を指名し、両氏はこれを承諾した。

議事

1. 第1号議案「平成30年度事業報告承認の件」及び第2号議案「平成30年度収支決算報告承認の件」について

五十嵐副会長が、配布された総会資料に基づき両議案内容を説明した。引き続き、池田（善）監事が、平成30年度決算書について詳細に監査した結果、収支状況を正しく示していると報告した。第1号議案及び第2号議案について一括審議した結果、異議なく承認された。

2. 第3号議案「2019年度事業計画（案）審議の件」及び第4号議案「2019年度収支予算（案）審議の件」について

五十嵐副会長が、配布された総会資料に基づき両議案内容を説明した後、第3号議案及び第4号議案について一括審議した結果、異議なく承認された。

3. 第5号議案「役員承認の件」について

本年度は役員改選の年ではないが、会長より新役員に関する説明があった。その後、第5号議案について審議した結果、異議無く承認された。

以上で第42回通常総会の議事が終了し、17時20分、竹田副会長の閉会の言葉で閉会した。

以上

議長 佐藤 隆 

議事録署名人 小島 邦夫 

議事録署名人 鶴沢 茂樹 

2019年度

第42回

総 会 資 料

2019年5月8日(水)

東京都環境計量協議会

総 会 次 第

1. 日 時 2019年5月8日(水)
午後4時30分
2. 場 所 アルカディア市ヶ谷 5階「大雪(東)」
3. 総会の成立と開会宣言
4. 会長挨拶
5. 議長選出
6. 議事録署名人の選出
7. 議 案
 - 第1号議案 平成30年度 事業報告承認の件
 - 第2号議案 平成30年度 収支決算報告承認の件
監査結果報告
 - 第3号議案 2019年度 事業計画(案)審議の件
 - 第4号議案 2019年度 収支予算(案)審議の件
 - 第5号議案 新役員承認の件
8. 閉会の言葉

はじめに

新緑の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素より当協議会の事業活動につきまして、ご理解、ご協力頂き厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度も日本各地で大規模な自然災害が数多く発生しました。7月には西日本豪雨により岡山・広島・愛媛の各県を中心に200名を超える方々が犠牲となった過去最悪の豪雨災害が発生しました。また、9月には台風21号が四国・近畿地方を直撃、関西空港が高潮による浸水で全面閉鎖となり8,000名の方々が空港施設内に取り残された他、空港閉鎖による経済損失は500億円以上と発表されました。その直後には、北海道胆振地方を震源とするマグニチュード(M)6.7(厚真町:震度7)の地震が発生、苫東厚真火力発電所が停止した事により「ブラックアウト」という現象が起こり、ほぼ全道民の方々が罹災されました。これらを契機に、BCP(Business Continuity Plan:事業継続計画)を構築する企業が急速に増えるとともに、各自治体と各業界とが災害時における支援協定を締結する動きが従来よりも盛んになってきました。我々、環境計量証明事業者団体におきましても、災害時における支援協定を締結する県単が増えてきており、当執行部でも首都圏環境連等と連携しながら、そうした支援協定について討議しているところです。一方、産業界では、一昨年度に発覚した種々の製品性能試験に関する改ざん問題や自動車の無資格検査問題に続いて、免震オイルダンパーという地震対策設備においても改ざん問題が露見する事態となり、我々を含む経済産業省が所管する第三者機関と呼ばれる検査・分析業の重要性が見直されているところです。そうした情勢の中、新年度となった4月1日の午前中に新元号が発表され、5月1日の午前零時をもって「令和」へと改元されました。上述の通り、「平成」時代の後半は、日本各地で自然災害による被害が多く発生しましたが、新しい時代「令和」を迎えて日本は元より世界中が平穏な時代として長期安定する事を祈念するところです。その一方で、当協議会と致しましても東京都を始めとする各自治体等と災害時における環境測定に関する支援の在り方について早急に検討して参りますので、引き続き、会員皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成30年度事業報告

平成31年3月31日現在の会員数及び役員は次の通りです。

* 会員数

正会員 64社 (入会1社、退会2社)
賛助会員 21社 (入会3社、退会2社)
合計 85社

* 役員

会長 1名、副会長 2名、理事 7名、監事 2名

1. 会議の開催

(1) 総会

平成30年度(第41回)通常総会

日時:平成30年5月8日(火) 16:30~17:20

場所:アルカディア市ヶ谷「鳳凰」

出席者:50社(うち委任状26社)

(2) 理事会

協議会運営のため、全役員による理事会を開催しました。

理事会:5回開催

(平成30年5月8日、7月4日、10月4日、12月4日、平成31年3月15日)

(3) 委員会会議

技術、業務、広報の3委員会について、担当理事及び委員による会議を必要に応じて開催しました。

2. 事業活動

当協議会の目的を達成するため、セミナー、発表会、研修会などの各種事業を企画、開催しました。

(1) 新任者教育セミナー

第11回 新任者教育セミナーを(一社)日本環境測定分析協会 関東支部と共同開催しました。なお、今年度も一都三県の合同実施となり、ほぼ満席の86名と多くの方々にご参加いただきました。

日時:平成30年6月6日(水) 10:00~17:30

場所:(一社)日本環境測定分析協会 2F研修室

参加者:86名(東環協:27、千環協:14、埼環協:15、神環協:30)

講義1(10:45~12:00)

(テーマ)労働安全衛生について

(講師)中央災害防止協会 東京安全衛生教育センター 大山 喜彦 氏

(概要)労働災害の発生状況、労働安全衛生法の改正、化学物質管理のリスクアセスメント、危険予知訓練など、労働安全衛生全般に亘る詳しい説明がありました。

講義 2 (13:00~14:30)

(テーマ) 環境計量の仕事とは

(講師) 小池技術士事務所 所長 小池 満 氏

(概要) 環境問題の歴史的背景や、環境関連法規、国際規格について説明がありました。若手技術者には、常に向上心や探究心を持ち「理論」と「実践」のバランス良い自己研鑽を積み重ね、資格取得に挑戦してもらいたいと話されていました。

講義 3 (14:45~16:15)

(テーマ) 精度良い測定のために

(講師) 村井技術士事務所 所長 村井 幸男 氏

(概要) サンプリングの重要性、目的に合った分析方法の選択と精度管理、汚染(コンタミネーション)の防止、使用器具の正しい操作、試薬、標準液、試験に使用する水の管理などについてお話がありました。

修了証授与式・名刺交換会 (16:15~17:30)

講義終了後、東環協、千環協、埼環協、神環協にそれぞれ分かれて、修了証の授与式が行われました。名刺交換会では、参加者同士が互いに活発なディスカッションを行いました。

(2) 環境測定技術事例発表会

事例発表では、東環協から5題、東環協の友好団体である大環協より1題、計6題の発表がありました。また、東京都環境局 環境改善部 化学物質対策課の渡邊課長 渡部課長代理に特別講演をしていただきました。

日 時：平成30年11月20日(火) 10:45~17:20

場 所：東海大学交友会館「望星の間」

参加者：会員23社49名、協賛企業10社(発表者・来賓を含め総数81名)

特別講演

(テーマ) 都の化学物質対策(VOCや有害化学物質等)について

(講師) 東京都環境局 環境改善部

化学物質対策課長 渡邊 昇 氏

化学物質対策課 課長代理(有害化学物質調査担当) 渡部 健一 氏

(概要) 講演の前半では、渡邊課長から化学物質対策課の担当業務の中から「VOC対策」についてご紹介いただきました。後半は、渡部課長代理より化学物質対策課の担当業務の中から「有害化学物質等のモニタリング」について、調査方法、調査結果を交えてご紹介いただきました。

事例発表 ①

(テーマ) 自動化装置の使用において起こった失敗事例と解決法について

(発表者) ラボテック株式会社 小林 琢也

事例発表 ②

(テーマ) クラウドサービスを用いた現場写真管理の効率化

(発表者) 帝人エコ・サイエンス株式会社 野房 政良

事例発表 ③

(テーマ) 海岸漂着プラスチックのPOPs分析

(発表者) いであ株式会社 内田 圭祐

事例発表 ④ <大環協・交流発表>

(テーマ) プローブマイクロホンを用いた排気ガス用サイレンサの性能評価

(発表者) 株式会社ササクラ 中井 克己

事例発表 ⑤

(テーマ) 環告 46 号試験法の土壌検液調製に関する基礎的検討事例

(発表者) 株式会社分析センター 浅野 裕信

事例発表 ⑥

(テーマ) 西日本豪雨災害における気中アスベスト調査

(発表者) 株式会社環境管理センター 結城 健一

(3) 技術研修会

本年度の技術研修会は、昨年度と同様に新年の賀詞交歓会と同日の開催としました。公益財団法人東京都環境公社 東京都環境科学研究所環境リスク研究科主任 根本忠浩様をお招きして「東京都環境科学研究所における行政検体の分析精度管理」というテーマでご講演いただきました。

日 時：平成 31 年 1 月 24 日 (木) 15:30～16:20

場 所：アルカディア市ヶ谷「妙高」

参加者：会員 26 社 40 名、協賛企業 3 社 5 名、来賓 1 名

(テーマ) 東京都環境科学研究所における行政検体の分析精度管理

(講 師) 公益財団法人 東京都環境公社 東京都環境科学研究所

環境リスク研究科 主任 根本忠浩 氏

(概 要) 水質分析を中心に分析精度管理について解説いただきました。具体的には、各公共用水域での調査に至る背景や目的、それらが東京都の水環境、水質規制と水質汚濁の常時監視体制の構築や信頼性確保の観点から重要であること。また、外部に委託された分析業務の精度管理が「法令順守」及び「環境実態の把握」の観点から極めて重大であることの説明がされました。

(4) 新春賀詞交歓会

新春賀詞交歓会を、以下の通り開催しました。

日 時：平成 31 年 1 月 24 日 (木) 17:00～19:00

場 所：アルカディア市ヶ谷「霧島」

参加者：会員 30 社・66 名、協賛企業 5 社 10 名、来賓 4 名

はじめに佐藤会長から新年挨拶、続いて、ご来賓の東京都環境局 筧環境改善部長、東京都生活文化局 東京都計量検定所 下村検査課長、(一社)日本環境測定分析協会 松村会長によりそれぞれご挨拶を頂戴致しました。

その後、(一社)日本環境測定分析協会 津上関東支部長による乾杯のご発声により新春賀詞交歓会の開会となりました。新会員、賛助企業のご紹介や、恒例のビンゴ大会で盛大に盛り上がったところで、石山理事による「三本締め」によりお開きとなりました。

(5) 東環協ニュース

東環協ニュースを 3 回発行しました。

第 168 号：平成 30 年 7 月 31 日

第 169 号：平成 30 年 12 月 27 日

第 170 号：平成 31 年 3 月 30 日

(6) 会員名簿

平成 30 年 8 月に会員名簿を発行、会員及び都内自治体に配布しました。

(7) 東環協メール情報サービス

電子メールによる情報提供を 17 件 (No.288～No.304) 実施しました。

(8) 研修見学会

本年度も首都圏環境計量協議会連絡会の研修見学会とし、首都圏 4 県単の(一社)埼玉県環境計量協議会、千葉県環境計量協会、(一社)神奈川県環境計量協議会及び東京都環境計量協議会での合同開催となりました。今回は(一社)神奈川県環境計量協議会の担当で「アサヒビール神奈川工場」での工場見学、「鎌倉・妙法寺」での法話の聴講と有意義な一日となりました。

開催日：平成 30 年 10 月 19 日 (金)

場 所：「アサヒビール神奈川工場」、「鎌倉・妙法寺」

参加者：34 名 (うち、東環協会員 8 社・17 名)

(9) 首都圏環協連関連

各県単の活動状況を報告し合い、当業界を取り巻く諸問題について意見交換を行いました。

① 首都圏環協連委員会：3 回開催

(平成 30 年 6 月 4 日、8 月 23 日、12 月 9 日)

② 平成 30 年度 環境計量証明事業者団体合同研修会

平成 31 年 2 月 5 日 (火) (於 ホテル横浜ガーデン)

第 1 部 「災害時の支援協定について」 (講師：埼環協 野口理事)

- ・危機管理について
- ・自治体への支援協定について
- ・環境計量業界における支援協定について
- ・環境計量業界団体の相互応援について

第 2 部 「最低制限価格についての討論会」 (座長：神環協 増田副会長)

- ・各県単における実情について意見交換

第 3 部 「意見交換会」

(10) 技術交流関係

今年度も、大阪環境測定分析事業者協会が主催する「環境測定技術事例発表会」に参加し、当協議会より 1 題を発表、技術交流を深めました。

開催日：平成 30 年 9 月 21 日 (金)

(テーマ) 河川水試料を対象とした直鎖アルキルベンゼン

スルホン酸塩 (LAS) のサロゲート分析法の開発

(発表者) 株式会社環境管理センター 今井 志保

(11) 東京都計量検定所関連

計量記念日に開催された「都民計量のひろば」で、当協議会も「環境と計量コーナー」への展示協力を致しました。

テーマ：くらしと計量ー東京 150 年 未来につなごう!東京の正しい計量ー

開催日：平成 30 年 11 月 1 日 (木)

場 所：新宿駅西口広場イベントコーナー

主 催：都民計量のひろば実行委員会 [構成団体 東京都計量検定所、(一社)東京都計量協会、東京都環境計量協議会等、18 団体]

当協議会が担当した「環境と計量コーナー」では、例年の環境クイズに加えて、(株)環境管理センター様のご協力を得て、分析補助を行う計量ロボットの映像展示を行いました。環境クイズに参加された方は290名、クイズ終了後、全員にエコ商品(オープナー、定規等)を配布しました。

(12) 親睦ゴルフ大会

- ① 平成30年度 第1回親睦ゴルフ大会(通算第36回)
開催日:平成30年6月22日(金)
場 所:セゴビアゴルフクラブ イン チヨダ
参加者:15名
- ② 平成30年度 第2回親睦ゴルフ大会(通算第37回) * 首都圏合同開催
開催日:平成30年10月26日(金)
場 所:上総モナークカントリークラブ
参加者:22名(うち東環協会員9名)

(13) ホームページ

ホームページでは、各種行事のご案内や東環協ニュースを掲載しています。また、環境省、経済産業省を始め、関係省庁等の情報を取りまとめ、毎月1回の更新を実施しました。

以 上

[第2号議案]

本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします

2019年度 事業計画 (案)

1. 会議の開催

- (1) 総会 2019年5月8日(水)
- (2) 理事会 6回程度(予定)

2. 事業活動

(1) 技術関係

- ① 新任者教育セミナー 6月19日(火)
- ② 研修見学会 10月(予定)
- ③ 環境測定技術事例発表会 11月(予定)
- ④ 技術研修会 2020年1月(予定)

(2) 業務関係

- ① 会員名簿の発行 7月(予定)
- ② 新春賀詞交歓会 2020年1月(予定)
- ③ 首都圏その他の連絡会議への参加 随時
- ④ その他(各種親睦会等)
 - ・ゴルフ大会 6月、9月の2回(予定)
 - ・その他

(3) 広報関係

- ① ニュースの発行 年3回(予定)
- ② ホームページの更新 原則、月1回
- ③ 都民計量のひろば行事 11月1日(予定)
- ④ 各種資料の配付、メールサービス 随時

(4) 官公庁その他に対する協力

- ① 東京都計量検定所が行う講習会への協力
- ② 東京都環境局が行う講習会への協力
- ③ (一社)日本環境測定分析協会が行う行事への協力
- ④ その他

以上

[第4号議案]

本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします

役員名簿

任期：2019年5月総会后～2020年5月総会まで

	役職	氏名	会社名	
1	会長	佐藤 隆	(株)分析センター	留任
2	副会長	竹田 良平	ヒロエンジニアリング(株)	留任
3	副会長	五十嵐 鋼	(株)東京環境測定センター	留任
4	理事	川東 光三	(株)トーニチコンサルタント	留任
5	理事	田口 和男	(株)オオスミ	留任
6	理事	志知 尚彦	帝人エコ・サイエンス(株)	留任
7	理事	池田 達也	(株)日本分析	留任
8	理事	石山 直樹	シグマジオテック(株)	留任
9	理事	木村 直樹	(一財)東海技術センター	留任
10	新理事	福田 秀樹	環境リサーチ(株)	会長推薦
11	新理事	平賀 積喜	(株)環境管理センター	会長推薦
12	監事	中村 勉	(株)環境技術研究所	留任
13	監事	池田 善郎	いであ(株)	留任

*敬称略

東京都環境計量協議会 第42回通常総会 出席者名簿

来賓 (一社) 日本環境測定分析協会 会長 松村 徹 様

No.	会社名	出席者名	備考
1	いであ (株)		
2	(株) エオネックス		
4	(株) オオスミ		
6	(株) 環境管理センター		
7	(株) 環境技術研究所		
8	(株) 環境総合テクノス		
9	(株) 環境総合リサーチ		
10	環境リサーチ (株)		
11	(株) クレアテラ		
12	(株) 産業分析センター		
13	(株) サンコー環境調査センター		
14	(株) ジェイペック		
15	シグマジオテック (株)		
16	(株) 島津テクノリサーチ		
17	新日本環境調査 (株)		
18	(株) 総合環境分析 東京技術センター		
19	ダイヤアクアソリューションズ (株)		
20	帝人エコ・サイエンス (株)		
22	(一財) 東海技術センター		
23	(株) 東京環境測定センター		
24	(株) トーニチコンサルタント		
25	(株) 日新環境調査センター		
26	(株) 日本シーシーエル		
27	(株) 日本総合科学		
28	(株) 日本分析		
29	ヒロエンジニアリング (株)		
32	(株) 分析センター		
36	ユーロフィン日本環境 (株)		新正会員
38	(株) 島津製作所		賛助会員
40	メトロームジャパン (株)		新賛助会員

来賓 1名
 正会員 28社 36名
 賛助会員 2社 4名
 計 30社 41名

委任状

・(株)伊藤公害調査研究所 ・エヌエス環境(株) ・(株)化学分析コンサルタント ・(株)環境技研 (板橋) ・(株)環境技研 (杉並) ・(株)環境技術センター ・(株)協進エンジニアリング ・共和化工(株) ・クボタ化水(株) ・(一財)小林理学研究所 ・三葉化工(株) ・(株)四門 ・(株)総合水研究所 ・中央建鉄(株) ・(株)長大 東京支社 ・東京都鍍金工業組合 ・(株)日本公害管理センター ・日本板硝子環境アメニティ(株) ・日本滌化化学(株) ・(一財)日本食品分析センター ・無臭元工業(株) ・ムラタ計測器サービス(株) ・(株)ヤクルト本社 中央研究所 附属分析センター ・八千代エンジニアリング (株)

24 社

第 42 回通常総会後の懇親会報告



総会終了後の 18 時 00 分から、恒例の懇親会が同じくアルカディア市ヶ谷 5 階「大雪（西）」にて、会員企業 32 社 53 名、来賓 4 名の方々にご出席いただき、盛大に開催されました。来賓には東京都環境局 環境改善部長 笥直様、東京都生活文化局 東京都計量検定所 検査課長 齊藤正樹様、(一社) 日本環境測定分析協会 会長 松村徹様、同 関東支部長 津上昌平様をお迎えしました。

志知理事の司会により、冒頭に佐藤会長の挨拶、次いで東京都環境局 環境改善部 笥部長、東京都計量検定所 齊藤検査課長、日環協 松村会長からご祝辞をいただきました。日環協 津上関東支部長による乾杯のご発声により懇親会が始まり、それぞれ歓談しながら楽しい時間を過ごすことが出来ました。

途中、任期半ばではありますが、諸事情により役員を退任される齊藤氏から、退任の挨拶がありました。続いて新たに理事に就任されました福田理事、平賀理事からの就任挨拶がありました。その他、賛助会員の皆様からの挨拶も行われました。また、佐藤会長より、今年 11 月 7 日から 8 日にかけてアジュール竹芝で行われる第 22 回日環協・経営セミナー全国大会 in 東京ベイエリア by 竹芝の紹介がありました。

宴たけなわの中、田口理事の音頭による中締めで、懇親会はお開きとなりました。

ご来賓の皆様への祝辞

東京都環境局 環境改善部長 笥直様



東京都環境局 環境改善部長の笥でございます。日頃より、東京都の環境行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。本日は、第42回 東京都環境計量協議会 通常総会が盛会のうちに終了したことをお喜び申し上げます。また、懇親会にお招きいただき、ご挨拶を申し上げる機会を得ましたことを、光栄に存じます。

この5月に平成から令和に改元され、新しい時代の幕開けとなりました。

また、今年は、皇室・改元関連行事をはじめ、G20会議、ラグビーワールドカップ、東京2020大会のプレイベントなど様々な行事が予定されています。都では、東京2020大会とその先を見据え、東京で暮らし、働き、そして訪れる誰もが快適に過ごすことができ、将来にわたって持続可能な「環境先進都市・東京」を目指しております。

その中で、私ども環境改善部では、都民の健康と安全に直結する生活環境の改善に向けた、大気環境の保全をはじめ、土壌・地下水汚染対策、化学物質の適正管理など様々な事業を実施しております。特に、来年に迫りました、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けては、「光化学スモッグ注意報発令日数ゼロ」などの目標を掲げ、事業者の方々、都民のみなさまの協力をいただきながら取り組んでいるところでございます。

こうした施策を進めていくには、実態の把握が必要であり、また、基礎となる信頼性の高い測定、結果の分析が不可欠です。こうした点からも、東京都環境計量協議会の会員の皆様の専門技術、環境計量分野が果たす役割は重要あり、日頃、都の環境行政にご協力いただいていることに改めて感謝申し上げるとともに、皆様方の取り組みに大きな期待を寄せているところでございます。私どもも、更にレベルの高い良質な環境を創出して参る所存でございますので、引き続きご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びになりますが、東京都環境計量協議会、並びに、会員事業者の皆様のご活躍とご発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

ご来賓の皆様への祝辞

東京都生活文化局 計量検定所 検査課長 齊藤 正樹 様



ただいま、ご紹介をいただきました、東京都計量検定所 検査課長の齊藤でございます。所長の荒木の代理としてお伺いいたしました。ご挨拶を申し上げる機会をいただきありがとうございます。本日、第42回通常総会につきまして、盛大に開催されましたことを心からお慶び申し上げます。

東京都環境計量協議会の皆様には、日頃から本都の計量行政につきまして、ご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。また、例年11月の計量記念日に新宿駅西口広場イベントコーナーで行っております「都民計量のひろば」におきましても、「環境と計量」へのご出展、ご運営をいただくなど、多大なご支援をいただいております。この場をお借りいたしまして厚くお礼申し上げます。

さて、東京都環境計量協議会様におかれましては、技術研修会や事例発表会などの取組を充実され、環境計量に関する技術の向上にご尽力されていると伺っております。こうした皆様の活動のお一つおひとつが、東京における環境の維持向上に、大きく貢献されていると存じております。

皆様の日々の地道な取組とご努力に心から敬意を表するとともに、今後とも、環境負荷の少ない都市づくりにお力を発揮していただきますようお願いいたします。

東京都計量検定所におきましても、今後とも適正計量の確保、計量思想の普及、啓発に努めてまいりますので、引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

最後になりましたが、東京都環境計量協議会様の益々のご発展と、本日ご参加の皆様方の益々のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

本日は、お招きいただき、誠にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



ご来賓の皆様への祝辞

(一社) 日本環境測定分析協会 会長 松村 徹 様



皆さんこんばんは。日環協会長の松村でございます。この度、東京都環境計量協議会 第42回総会、大変おめでとうございます。日頃、東環協の佐藤会長、竹田副会長、五十嵐副会長には、大変お世話になっております。また、会員の皆さま、賛助会員のみなさま、日環協本体の活動に日頃ご協力いただきまして、本当にありがとうございます。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

ご挨拶の時間をちょっといただきまして、PRを2点ほどさせていただきます。1つは、日環協のHPにございますeラーニングの御案内でございます。環境計量士の試験日程が前回から時期がずれたこともあり、受験者数が少し減ってきました。環境計量士は私どもの業界にとっては最も必要な資格であるのはご存じの通りで、日環協は今まで「環境計量士国家試験問題の正解と解説」を書籍として発行してきましたが、時代の流れで「環境計量士国家試験対策eラーニング」としてインターネットでご利用可能となりました。是非、皆さまの組織の中でまだ計量士の資格を持っておられない若手の方がいらっしゃいましたら、eラーニングで勉強していただければと思います。スマートフォンでもできます。非常に安くなっておりますので是非ご利用いただければと思います。

もう1つは、2019年度の環境測定分析士の試験についてです。今年3級の試験がまずあって、7月から2級と1級の試験の申込みが始まります。我々の業界団体の資格を入札制度に入れていただきたいという活動を3年前から環境省に要望を出してきました。この度、環境省の総合評価の形式のものに加点要素として採択されました。日環協のHPに詳しく載っていますが、環境測定分析士を持っていることによって総合評価の加点、5点プラスになります。環境計量士や技術士と同じ土俵に乗りましたので、各自治体も順次これに倣って環境測定業務の発注をしていただけると期待しております。

環境測定分析士1級合格者は40名に満たないため、ぜひ皆さまの企業様で若手の方に1級、2級を取得するようにPRしていただければと思います。また、受験資格として、1級は2級登録証の交付、2級は3級認定証交付(みなし規定あり)が必要と非常にハードルが高いので、試験管理委員会で、1級を受験する枠を経験年数によって補完するシステムを考えたいと思います。7月に環境測定分析士1級2級の申込がありますので、それまでには是非社内でPRをよろしくお願いいたします。



<津上支部長の乾杯>



<司会の志知理事>



<懇親会風景>



<懇親会風景>



<中締め 田口理事>

東京都環境計量協議会第42回通常総会懇親会 出席者名簿

来賓	東京都環境局 環境改善部	環境改善部長	笥 直 様
	東京都生活文化局 計量検定所	検査課長	齊藤 正樹 様
	(一社)日本環境測定分析協会	会長	松村 徹 様
	〃	関東支部長	津上 昌平 様

No.	会社名	出席者名	備考
3	いであ (株)		
5	(株) エオネックス		
7	(株) オオスミ		
8	(株) 化学分析コンサルタント		
10	(株) 環境管理センター		
11	(株) 環境技術研究所		
12	(株) 環境総合リサーチ		
14	環境リサーチ(株)		
15	(株) サンコー環境調査センター		
16	(株) ジェイペック		
17	シグマジオテック(株)		
19	(株) 島津テクノリサーチ		
21	新日本環境調査 (株)		
22	(株) 総合環境分析 東京技術センター		
23	帝人エコ・サイエンス (株)		
25	(一財) 東海技術センター		
28	(株) 東京環境測定センター		
29	(株) トーニチコンサルタント		
31	(株) 日新環境調査センター		
32	日本エコテック(株)		
33	(株) 日本シーシーエル		
34	(株) 日本総合科学		
35	(株) 日本分析		
36	ヒロエンジニアリング (株)		
39	(株) 分析センター		
43	ユーロフィン日本環境(株)		新正会員
45	(株) 島津製作所		賛助会員
46	東ソー (株)		賛助会員
47	ビーエルテック (株)		賛助会員
49	松田産業 (株)		賛助会員
51	ラボテック (株)		賛助会員
53	メトロームジャパン(株)		新賛助会員

来 賓		4 名
正会員	26 社	43 名
賛助会員	6 社	10 名
計	32 社	57 名

2019年度 新任者教育セミナー報告

当協議会では今年度も「環境計量測定データの信頼性の向上」を目的として各種技術講習会等を企画してまいります。その一環として昨年に引き続き日環協関東支部との共催で、新任者や若手分析技術者を対象とした『新任者教育セミナー』を開催いたしました。12回目の開催となる今年度も一都三県の合同開催となり、ほぼ満席の74名（東環協：18名、千環協：18名、埼環協：18名、神環協：20名）と多くの方にご参加いただきました。

日 時 : 2019年6月19日(水) 10:00~17:30

場 所 : (一社)日本環境測定分析協会 2階研修室

講義1 「労働安全衛生について」 (10:45~12:00)

講 師 : セフティレビュー 大山 喜彦 氏



〔講義目次〕

1. 労働災害発生状況
2. 労働安全衛生法とは
3. 事業場の安全衛生管理体制
4. 災害発生の仕組みと災害原因
5. ハインリッヒの1:29:300の法則
6. 労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）とリスクアセスメント
7. 化学物質管理のリスクアセスメント
8. 危険予知訓練と指差呼称

〔講義概要〕

労働災害の発生状況は労働安全衛生法が制定されてから年々減少し、ここ数年間は11~12万人の死傷者数(休業4日以上)、重大事故(死亡者数)は900人台と横ばいの状況である。労働安全衛生法は、職場での事故、健康被害を予防するためにあり、労働災害の発生の仕組み、原因を調査し、人のミス、装置等の故障が起きても災害にならない安全管理(フルセーフ、フェールセーフ)を構築する必要がある。また、ハインリッヒの法則による事故・災害防止対策(ヒヤリ・ハット運動やKYT(危険予知訓練))についての説明があった。

近年では平成18年にリスクアセスメントの規定、過重労働・過労死・メンタルヘルス対策、平成26年にメンタルヘルス対策としてのストレスチェックや化学物質に対するリスクアセスメントの義務化が定められた。過去事案の後追い対策であるハザードベースではなく、事前対策のリスクアセスメントベースが大切である。併せて、労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)導入の背景、必要性が説明された。さらに、化学物質管理のリスクアセスメントの実施方法、作業リスクの考え方について説明があった。最後に、ヒューマンエラーによる事故・災害の防止については、危険予知訓練や指差呼称が効果的であるとの説明があった。

講義2「環境計量の仕事とは」 (13:00~14:30)

講師：小池技術士事務所 所長 小池 満 氏



〔講義目次〕

1. 環境計量の関係法令
2. 計量法と事業登録制度
3. 「環境計量」の関連事項
4. 環境計量に携わる技術者として

〔講義概要〕

環境学の領域について幅広い知識と専門性を身につけることが大切で、業務を実施する上で環境考古学の知識も必要になったとの紹介があった。また、環境計量についての定義の説明があった。

環境関連法規は、環境基本法（第1条目的、第2条定義を理解する）を中心に大気、水質、土壌、騒音・振動、地盤沈下、悪臭、リサイクル等多岐にわたる法律で形成されている。法令等の種類には、法律、政令、内閣府令、省令、告示、通達等がある。環境計量の関連法令として、特に、環境基準、その分析方法について告示、JISを理解することが大切で、JISについては頻繁に改正されるので最新版をしっかりと確認することが必要である。また、最近では分析方法、基準値の改正等のインターバルが短くなってきているとの紹介があった。

計量法や私たちが行っている環境計量証明事業の環境測定・分析に関わる事業登録についてや、計量証明には国際単位系（SI）を用いることについて説明がなされた。また、ISO等の国際規格があり、社会のグローバル化と共に、それらの取得の必要性が増しているとの説明もあった。

最近では、サンプリング担当者、分析担当者に分かれて調査分析を行っている会社が増えており、分析担当者は現場の状況やその変化について直接把握できないため、サンプリング担当者との密な情報共有が大切である。

環境測定に携わる分析技術者として、常に向上心や探究心を持ち「理論」と「実践」のバランス良い自己研鑽を積み重ね、資格取得（環境計量士、技術士）に挑戦してもらいたい。最後に、インターネットから必要な情報取得についての紹介があった（JIS K 0102、SDGs、河川水質試験方法等）。



講義3 「精度良い測定のために」 (14:45~16:15)

講師：村井技術士事務所 所長 村井 幸男 氏



〔講義目次〕

1. サンプルング (水質、大気、土壌、底質)
2. 環境測定に関する化学分析の基礎、機器分析法
3. 測定値の管理、データの取り扱い

〔講義概要〕

新任者教育テキストを中心に、重要なポイントについて、スライドにより詳細な説明があった。

環境測定においては、サンプルングが重要であり、いかに精度良い分析を行ってもサンプルングに誤差があつては、正しい測定結果は得られない(ポイント:「サンプルングとは」、「サンプルング誤差のチェック方法」)。

環境測定に関する化学分析の基礎については、目的に合った分析方法の選択と共に、精度管理が重要であり、測定環境からの汚染(コンタミネーション)の防止、使用器具の正しい操作、試薬、標準液、試験に使用する水の管理が大切である(ポイント:「環境測定に関する化学分析の基礎」、「精度と正確さ」、「トレーサビリティとは」、「試料分解」)。

また、機器分析法では、検出限界、ブランク値、相対測定への認識、定量方法について、理解しておく必要がある(ポイント:「ブランク値」、「相対測定への認識」)。

測定値の管理については、数値の丸め方、管理図等による測定値の自己管理が大切であると共に、近年の技能試験等の統計処理ではzスコアが用いられており、自分の測定結果の精度を確認すると共に、外れ値となった場合には、その要因を検討しておく必要がある(ポイント:「測定値の自己管理」、「zスコア」、「外れ値」)。

また、分析誤差、分析値の不確かさ、相関係数、回帰曲線について説明があり、特に、分析値の不確かさについては、分析値のばらつきを表し、重要なところである(ポイント:「精度、真度(正確さ)、精確さ」、「分析の不確かさ」)。

アンケート結果 (抜粋)

年齢：30歳未満 89%、30歳代 11%

性別：男 56%、女 44%

入社年数：1年未満 72%、1~3年 11%、3~5年 11%、5年以上 6%

分析・測定の分野：大気、水質、底質、土壌、臭気・悪臭、騒音・振動、シックハウス、ダイオキシン類、絶縁油、農薬、アスベスト、金属、食品、放射能・放射線

講義内容については、3題とも「大変参考になった」「参考になった」が89%以上でした。

特に興味をもった講義として回答が多かったのは講義3で、「非常に興味深い講義であった一方、内容の多さに対し時間が不足していた」との声が聞かれました。

〔修了証授与式・名刺交換会〕

セミナー終了後、東環協、千環協、埼環協、神環協にそれぞれ分かれて、修了証の授与式が行われました。授与式の後、5階に移動し、名刺交換会が行われました。入社間もない参加者にとっては貴重な名刺交換の機会であり、活発にディスカッションを行っていました。限られた時間内での講義で質問時間も限られていたため、名刺交換会では講師の方に積極的に質問する参加者の姿も見受けられました。

また、今回も参加者の皆さんにはアンケートをお願いしました。講義についての感想は、講師の方々にフィードバックすると共に、その一部は上記、記事に掲載いたしました。参加者の方の貴重なご意見・ご要望については、今後の東環協の運営に反映させていただきます。



<受講風景>



<修了証授与式>



<名刺交換会風景(1)>



<名刺交換会風景(2)>



<名刺交換会風景(3)>

2019年 新任者教育セミナー 参加者名簿

2019年6月19日(水)

於 (一社) 日本環境測定分析協会 研修室

講師

セフティレビュー		大山 喜彦氏
小池技術士事務所	所長	小池 満氏
村井技術士事務所	所長	村井 幸男氏

会員

No.	会社名	氏名	備考
1	いであ(株)		
2	(株) 環境管理センター		
3	(株) 環境管理センター		
4	(株) 環境管理センター		
5	(株) 環境管理センター		
6	(株) 環境管理センター		
7	(株) 環境管理センター		
8	(株) 環境管理センター		
9	(株) 環境管理センター		
10	(株) 環境技研		
11	(株) ジェイペック		
12	(株) 東京環境測定センター		
13	(株) 日本公害管理センター		
14	ヒロエンジニアリング(株)		
15	(株) 分析センター		
16	(株) 分析センター		
17	(株) 分析センター		
18	メトロームジャパン(株)		

9社 18名

新役員の挨拶

2019年度の総会において、2名の新役員が承認されました。新たな役員は以下のとおりです。

- ・理事： 福田 秀樹 環境リサーチ株式会社
- ・理事： 平賀 積善 株式会社環境管理センター

新しく役員になりました各氏に、今後の抱負を含めご挨拶をいただきました。

福田 秀樹 理事 [環境リサーチ(株)]



第42回通常総会にて理事に選任されました環境リサーチ株式会社の福田秀樹でございます。弊社は本年で設立30周年を迎えましたが、これまでは東京都環境計量協議会のみなさまにはお世話になるばかりで貢献はできておりませんでした。このような任務は初めてでありみなさまには教えていただきながらの活動になりますが、少しでもお役に立てるよう、微力ではありますが尽力させていただきたいと思っております。ご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

平賀 積善 理事 [(株)環境管理センター]



第42回通常総会にて理事に選任されました株式会社環境管理センター平賀積善でございます。環境計量業界の社会における立場、使命、地位向上において東京都環境計量協議会の活動は重要であると考えております。私も微力ではありますが、誠意を持ってこの活動に尽力させていただきます。皆様のご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

役員の役割分担

2019年度は、下記のような役員の役割分担で事業を進めて参ります。

	佐藤	竹田	五十嵐	川東	田口	平賀	志知	池田(達)	石山	木村	福田	中村	池田(善)
役員会議事録							◎	○		○			
ホームページ管理			○			○		◎					
資料作成管理		○	○										
会員名簿管理		◎											
首都圏連絡委員会	◎	○				○				○		○	
東環協ニュース				◎			○	○			○		○
官庁関係挨拶等	◎	○	○										
新任者教育セミナー	○	◎							○				
研修見学会					○	◎		○	○				
大環協事例発表会	◎		○							○			
技術研修会	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事例発表会	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
都民計量のひろば		○			◎		○		○		○	○	
懇親会(ゴルフ、その他)					○				○			◎	
新春懇親会	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総会	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会計監査	○	○	○									◎	○
役員会招集	○	◎	○										
事務局		◎											

◎ 主担当 ○ 担当

委員会	笹嶋	安藤	綿谷
技術委員会		○	
広報委員会			○
業務委員会	○		

関係機関・団体の動き

2019年6月現在で、既に実施または今後予定されている関係機関及び団体の動きは、以下のとおりです。

○ 首都圏環境計量協議会連絡会

- | | | |
|----------|---------|-----------|
| ・第1回委員会 | 6月 4日 | (株)分析センター |
| ・第2回委員会 | 8月 22日 | (株)分析センター |
| ・親睦ゴルフ大会 | 10月 25日 | 未定 |

○ (一社)神奈川県環境計量協議会

- | | | |
|--------------------|--------|----------------|
| ・通常総会 | 5月 29日 | ホテル横浜ガーデン |
| ・親睦会 | 5月 31日 | ニュー南総ゴルフ倶楽部 |
| ・新任者教育セミナー (日環協共催) | 6月 19日 | (一社)日本環境測定分析協会 |
| ・親睦地曳き網大会 | 7月 20日 | 堀川網 (鶴沼海岸) |

○ (一社)埼玉県環境計量協議会

- | | | |
|--------------------|--------|----------------|
| ・通常総会 | 5月 25日 | ラフレさいたま |
| ・新任者教育セミナー (日環協共催) | 6月 19日 | (一社)日本環境測定分析協会 |

○ 千葉県環境計量協会

- | | | |
|--------------------|--------|----------------|
| ・通常総会 | 4月 24日 | プラザ菜の花 |
| ・新任者教育セミナー (日環協共催) | 6月 19日 | (一社)日本環境測定分析協会 |
| ・ソフトボール大会 | 6月 29日 | 稲毛海浜公園野球場 |
| ・研修見学会 | 未定 | |

○ (一社)日本環境測定分析協会

- | | | |
|---|------------------|------------|
| ・日環協通常社員総会 | 5月 21日 | タワーホール船堀 |
| ・第27回 日環協・環境セミナー
全国大会 in くまもと | 10月 17日
～ 18日 | ホテルメルパルク熊本 |
| ・第22回 日環協
経営セミナー in 東京ベイエリア
by 竹芝 | 11月 7日
～ 8日 | アジュール竹芝 |

東環協からのお知らせ

○ 2019年度 第1回 親睦ゴルフ大会報告 (通算 38回)

季節外れの台風の接近が予想される中、6月28日(金)に茨城県かすみがうら市のセゴビアゴルフクラブインチョダにて親睦ゴルフ大会を開催いたしました。

梅雨の真ただ中、しかも台風による大雨が予想され、前日には“本当にやるの?”との声もある中、スタート時間頃には雨は上がるとの天気予報を信じ強行開催することに決定しました。

当日は今にも雨が降りそうな曇り空の中、一人の欠席者も無くスタートしました。

このコースは昨年の春に開催したコースで覚えている方もいらっしゃいましたが、分かっているから良いスコアが出るほど甘いコースではなく、返り討ちにあった方もおられました。心配された雨は殆ど降らず全員無事完走、その後表彰式を兼ねた懇親会を開催いたしました。

今回は月末の金曜日とあって参加者9名でした。次回以降より多くの方が参加できる日程を考えたいと思います。

秋は首都圏合同での開催になります。開催日は10月25日(金)千葉県某所(未定)にて行う予定です。多数の皆さんの御参加をお待ちしております。

○ 2019年度これからの主要行事予定

- | | |
|---------------------------|------------------|
| ・研修見学会 | 未定 |
| ・2019年度第2回(通算第39回)親睦ゴルフ大会 | 10月25日(金) |
| ・都民計量のひろば | 11月1日(金) |
| ・環境測定技術事例発表会 | 11月18日(月) |
| ・技術研修会 | 2020年1月17日(金) 予定 |
| ・賀詞交歓会 | 2020年1月17日(金) 予定 |

○ 事務局からのお知らせ

- ・会員の動き(第170号(3月20日発行)以降の会員動向を掲載)

入会された会員

① 会員区分：賛助会員

会 員 名：メトロームジャパン株式会社

代 表 者：部長 小林 泰之

連絡担当者：IC部東日本 ICセールスグループ 門脇 実

TEL:03-5642-6147 , FAX:03-5642-6142

② 会員区分：正会員

会 員 名：ユーロフィン日本環境株式会社

代 表 者：代表取締役社長 入山 隆

連絡担当者：取締役 木村 克年

TEL:03-5661-8131 , FAX:03-5661-8132

現在の会員数 (2019年 6月現在)

正 会 員 64社

賛助会員 20社 合 計 84社

○ 編集後記

役員一同の協力により、2019年度(令和元年度)、令和最初の「東環協ニュース」第171号が無事に完成しましたので皆様にお届けいたします。今回は、第42回通常総会と懇親会、新任者教育セミナーを中心に編集しました。今後も会員の皆様のご協力を得ながらより良いものにしたいと思います。

「東環協ニュース」に関するご意見、ご感想等がございましたら、事務局、役員まで気軽にご連絡ください。宜しく願い申し上げます。

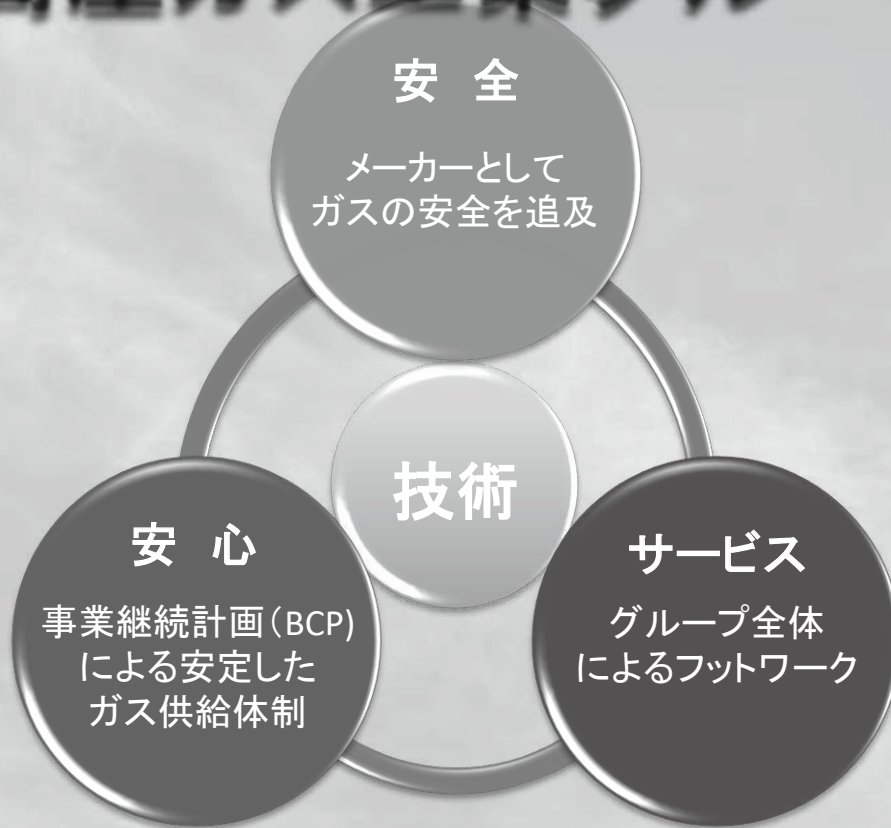
○ 謝辞

昨年度の「都民計量のひろば」の環境と計量コーナーにおいて、エコ商品をご提供いただきましたヤクルト本社 中央研究所 附属分析センター様に感謝を申し上げます。

人と技術と環境の調和

Harmony among People, Technology, and Environment

高圧ガス工業グループ



JCSS 標準ガス

キャリアガス

非接触型 LSI カード

容器管理システム

ネットワークであらゆる
ニーズにお応えします

特殊塗料

衝撃吸収シート

瞬間接着剤

設計・製作・工事



高圧ガス工業株式会社

本社
東京事務所

大阪府大阪市北区中崎西2丁目4番12号 梅田センタービル28階
東京都千代田区内幸町1丁目2番1号 日土地内幸町ビル9階
ホームページ <http://www.koatsugas.co.jp>

TEL: 06-7711-2570 (代)
TEL: 03-3595-3128 (代)



Ultrapure Water Technology of ORGANO

NEW

水道水直結・卓上型超純水製造装置

アルファ

超純水製造装置 ピューリック UP-



確かな水質の超純水を手軽に採水。
コンパクト設計で手狭な実験室内のスペースを有効に活用できます。

●超コンパクト設計

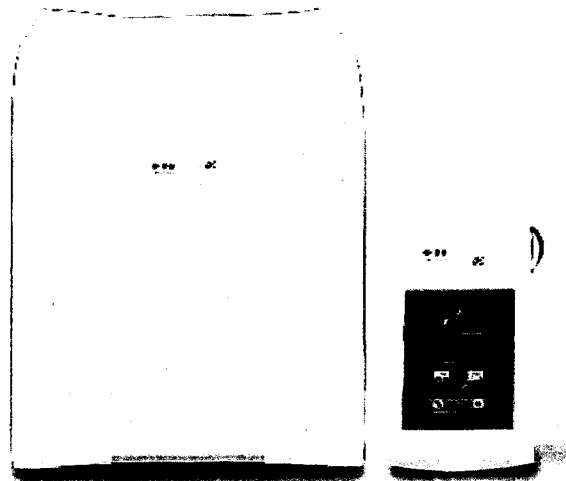
- ・前処理から最終フィルタまでを一つのボディへ収納しました。
- ・純水タンク (5L) 内蔵により小型化、軽量化を実現しました。

●確かな水質

- ・比抵抗：18.2MΩ・cm
- ・独自のイオン交換樹脂を採用しており、高純度な超純水を得られます。
- ・最終フィルタは要求水質に合わせてUF/MFを選択可能です。

●超純水タンク循環システム

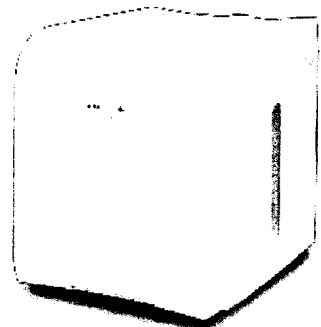
- ・常時循環機能により、いつでも高純度な超純水を採水可能です。(間欠循環も可能)
- ・タンク水も含めた水量での高純度維持が可能です。
- ・専用タンクを外付けする事でタンク容量アップも可能です。



※専用ディスペンサーは別売りです。

超純水製造装置 ピューリックUP-α

- UP-0090α-TU0 (UF仕様、タンク内蔵) 標準価格 ¥1,036,000
- TM0 (MF仕様、タンク内蔵) 標準価格 ¥964,000
- OU0 (UF仕様、タンク外付) 標準価格 ¥1,000,000
- OM0 (MF仕様、タンク外付) 標準価格 ¥927,000



【お問い合わせ】オルガノ代理店 株式会社東京科研 担当関根
〒113-0045 東京都文京区湯島3-20-9
TEL:03-5688-7401 FAX:03-3831-8616

さらに進化したニューコンセプトIC...

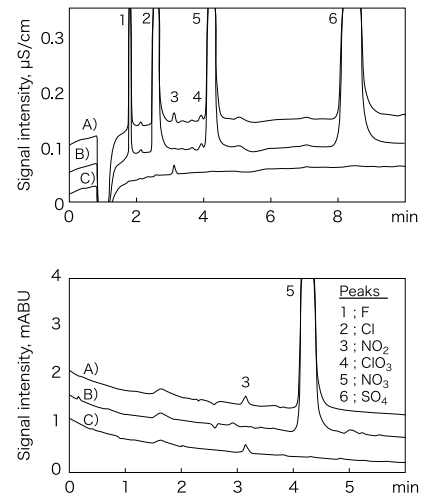
イオンクロマトグラフィー システム

IC-2010



イオンクロマトグラフィー システム IC-2010

水道水中の亜硝酸態窒素の測定



(上段:電気伝導度検出,下段:紫外吸光度検出)

カラム: TSKgel SuperIC-Anion HS (4.6 mm I.D.×10 cm)
 検出: 電気伝導度検出(サプレッサー使用)
 紫外吸光度検出(210 nm)
 試料: A) 亜硝酸イオンを添加した水道水(NO₂-Nとして0.004 mg/L)
 B) 水道水
 C) 亜硝酸イオン標準試料(NO₂-Nとして0.004 mg/L)

- 高速多検体** ▶ 測定時間5分のハイスループット分析を実現
 ▶ 内蔵オートサンプラによる連続多検体処理に対応

- 高機能** ▶ 希釈時間5分の自動希釈機能を搭載
 ▶ 水道GLPサポート機能を搭載

- 高感度** ▶ 自動交換型ゲルサプレッサ方式で高感度分析が可能



東ソー株式会社
 バイオサイエンス事業部

東京本社営業部 ☎(03)5427-5180 〒105-8623 東京都港区芝3-8-2
 大阪支店 バイオサイエンスG ☎(06)6209-1948 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-4-9
 名古屋支店 バイオサイエンスG ☎(052)211-5730 〒460-0008 名古屋市中区栄1-2-7
 福岡支店 ☎(092)781-0481 〒810-0001 福岡市中央区天神1-13-2
 仙台支店 ☎(022)266-2341 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-1
 山口営業所 ☎(0834)63-9888 〒746-0015 山口県周南市清水1-6-1
 カスタマーサポートセンター ☎(0467)76-5384 〒252-1123 神奈川県綾瀬市早川2743-1
 バイオサイエンス事業部ホームページ <http://www.separations.asia.tosohbioscience.com/>

写真整理や帳票作成の手間を軽減します！

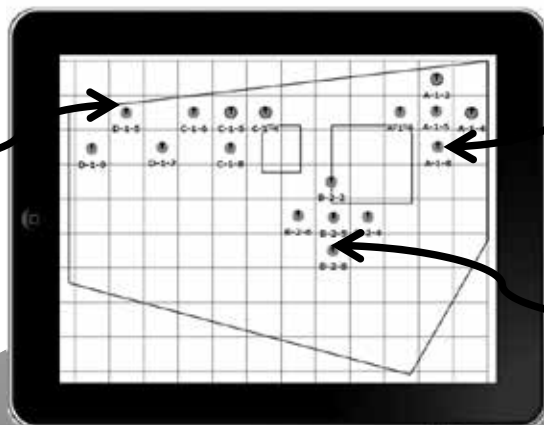
pictum (ピクタム)

帝人エコ・サイエンス株式会社監修

製品の特長



ボーリングバー
削孔状況

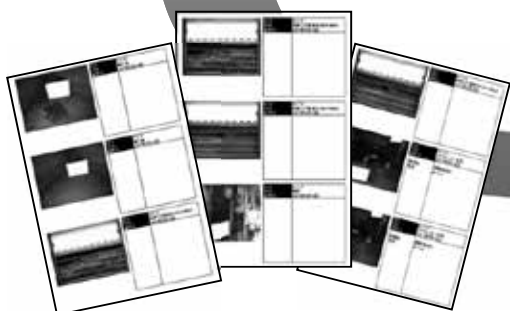


施工後

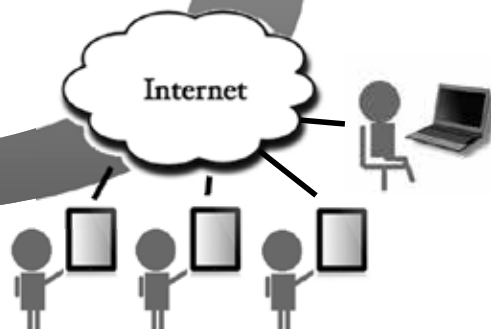


検尺

写真整理！



簡単帳票作成！



データ共有！

タブレットを現場で活用すると...???

- ✓ 地歴調査の現地踏査写真整理業務、工数80%削減！
- ✓ 土壌汚染状況調査の写真整理業務、工数50%削減！
- ✓ 現場管理者が調査進捗状況をリアルタイムに確認可能！
- ✓ 作業員が試料採取済み箇所を瞬時に把握！

pictum

検索

■ 製品のお問い合わせ

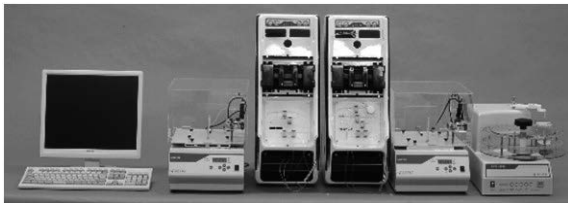
日本コントロールシステム株式会社
<http://www.nippon-control-system.co.jp/>

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-18 三富ビル新館5F
TEL : 03-3443-5081 (ピクタム担当)
MAIL : pictum@nippon-control-system.co.jp

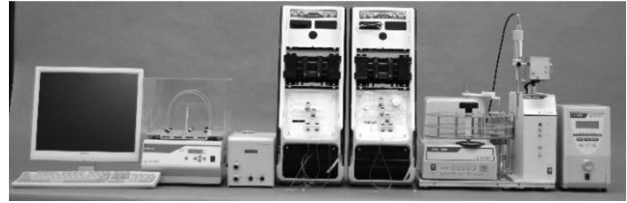
ビーエルテックの自動化学分析装置

BLTEC 新型オートアナライザー「SYNCA」 ふっ素 シアン フェノール類 全窒素 全りん

- 1 新開発の光学系により測定レンジが広がりました。
- 2 デテクターの向上(24ビット)によりデータ量が多く取り出すことができます。
- 3 ふっ素、シアン、フェノール類の蒸留、発色操作も自動で行えます。
- 4 全窒素全りんのオートクレーブ分解、発色操作も自動で行えます。
- 5 自動洗浄装置装着時、自動プラテンリリースできます。
- 6 国内生産です。
- 7 JISK0102対応メソッドです。1時間20検体測定ができます。
- 8 原理は、気泡分節型連続流れ分析法(CFA)で計量証明機関で多くの実績があります。



SYNCA - ふっ素シアン



SYNCA - 全窒素全りん

2019年3月20日に
流れ分析水質試験方法(JISK0170)
、工場排水試験法(JISK0102)、環告
の改正がありました。

全シアンは、告示59号の付表1で
蒸留から発色まで公定法となりました。

JIK0102	項目名	JIK0102	項目名
28.1.3	フェノール類	43.1.3 43.2.6	亜硝酸イオン 硝酸イオン
30.1.4	陰イオン界面活性剤	45.6	全窒素
34.4	ふっ素化合物	46.1.4 46.3.4	りん化合物 全りん
38.5	シアン化合物	65.2.6	クロム(VI)
42.6	アンモニウムイオン		

全自動酸化分解前処理装置 DEENA

特長

1. 試薬を自動で導入できます。
2. 自動で加熱をします。
3. 内部標準も入れられます(オプション)
4. メスアップも自動で行います。



DEENA60
(50mlバイアル 60本掛け)



DEENAm
(50mlバイアル 30本掛け)



ビーエルテック株式会社 <http://www.bl-tec.co.jp>

本社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-25-7 江戸堀ヤタニビル2F
TEL:06-6445-2332 FAX:06-6445-2437

東京本社 〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14-15 マツモトビル4F
TEL:03-5847-0252 FAX:03-5847-0255

九州支店 〒811-3311 福津市宮司浜1-16-10-101
TEL:0940-52-7770 ※FAXは本社へ

MIKAMI

MIKAMI Co., Ltd.

「皆様の分析、研究の手足となります」

試薬・理化学機材総合商社ミカミの武器は

機動力とスピードです

創業 70 年の実績と知恵をぜひ一度お試しください

- ① ネットでも難しいもの、探して届けます
- ② 御見積回答翌日までに致します
- ③ 試薬、理化学商材、世界の検索網にかかけます

営業内容

試薬・医薬品・動物薬品・理化学機器・修理・中古機器



研究室の総合プランナー
株式会社ミカミ

〒131-0032 東京都墨田区東向島5-4-12

TEL: 03-3610-0331 FAX: 03-3610-0334

E-Mail: info@kkmikami.co.jp

HP: <http://www.kkmikami.co.jp>



メトローム イオンクロマトグラフ



自動希釈
自動ろ過
自動透析
自動中和・金属除去
自動濃縮/カラムスイッチング/
マトリックス除去

自動前処理システム Metrohm Inline Sample Preparation (MISP)



JASIS 2019 出展のご案内 小間番号: 5B-101

【新技術説明会】

- ・誰も教えてくれなかったイオンクロマトグラフィの基礎 その2
- 先輩も教えてくれなかった秘密のノウハウ -
日時 9月4日(水) 12:35 ~ 13:25 会場: A-5
- ・イオンクロマトグラフィの前処理に悩む、すべての技術者に
- 信頼性を確保するインライン前処理技術 -
日時 9月5日(木) 14:35 ~ 15:25 会場: N-6

イオンクロマトグラフィの原理からトラブルまでご隠居さん達が楽しく解説する
大人気コラム「ご隠居達のIC四方山話(よもやまばなし)」。ウェブサイトに掲載中!

IC 四方山話



デモやサンプルテストもお気軽にお問い合わせください。
e-mail での問い合わせ: metrohm.jp@metrohm.jp

本社 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 30-1 タマビル日本橋箱崎 8 階 TEL: 03-5642-6146 (TI部) FAX: 03-5642-6142
大阪支店 〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町 3-1-9 淡路町ダイビル 5 階 502C TEL: 06-6232-2311 FAX: 06-6232-2312
URL <https://www.metrohm.com/ja-jp/>